



第34回 全日本少年サッカー大会 東京都大会 要項

< 大会趣旨 >

財団法人日本サッカー協会は日本の将来を担う少年達のサッカーへの興味、関心を深め、さらに技術の向上と健全な心身の育成・発達を図ることを目的とした全日本少年サッカー大会を開催する。

この大会は、少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして創造力豊かな人間の育成を目指すものである。

1. 主催 (財) 日本サッカー協会 (財) 日本体育協会日本スポーツ少年団
読売新聞社
2. 主管 (財) 東京都サッカー協会 **東京都少年サッカー連盟**
3. 後援 日本テレビ放送網 報知新聞社
4. 特別協賛 東京コカ・コーラボトリング ・YKK ・花王
5. 協賛 日清オイリオグループ
6. 日時 **2010年4月4日～6月13日**
7. 会場 府中市少年サッカー場・多摩市立陸上競技場他 各ブロック会場
8. 参加資格
 - (1) **2010年度**第4種に加盟登録したチームであること(準加盟チームを含む)。登録団体より1チームの参加となる。
 - (2) 上記チームの構成は単一チームに限られ、年間を通じて継続的に活動していること。
 - (3) 上記チームに所属する選手であり、本協会発行の登録選手証を有するもの。
 - (4) 都道府県大会から決勝大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへの移籍後、再び同一大会に参加することはできない。
 - (5) 参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
 - (6) 小学校6年生以下で編成されたチーム。
ただし4年生以下の選手を含める場合は選手の健康・体格・体力・技能等を十分に考慮しチームの責任において出場させること。
 - (7) 第4種に登録した女子については上記の項をふまえて出場してもよい。
9. 競技規則
 - (1) 試合は**2010年度**「サッカー競技規則」による。
 - (2) 競技時間は40分(前後半各20分)とする。

- (3) ブロック大会はトーナメント、リーグ戦いずれでもよい。
中央大会は、各ブロックよりブロック予選上位3チーム出場し、計48チームのトーナメント戦とする。
- (4) 試合ごとの登録選手は18名とし、うち7名までは随時、自由に交代できる。
(全国大会同じ)
- (5) コートは80m×50mを基本とする。ゴールは少年用。ただしブロック大会については、それぞれの事情に応じて設定してよい。
- (6) 本大会の試合中に退場処分を受けたものは次の試合1試合出場できない。(同一大会)
- (7) 試合ボールは4号縫いとする。

- 10・その他 (1) 競技日程 **ブロック大会は5月9日までに終了する。**
(2) 抽選会 **5月26日(水)** 東京体育館第一会議室
(3) サッカーの集い **6月6日(日)** 府中市少年サッカー場
- 11・大会参加費 5,000円

中央大会実施要項

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 日 程 | 2010年6月 6日(日)・12日(土)・13日(日)
*予備日 6月19日(土) 日程の変更は認めない。 |
| 2 | 会 場 | ・予選第1日目、2日目 府中市少年サッカー場
・3日目は多摩市立陸上競技場 |
| 3 | 協 力 | 府中Y S S |
| 4 | 参 加 | 各ブロック大会の上位3チーム。合計48チーム。 |
| 5 | 組み合わせ | 全チーム代表者出席による抽選を行う。 |
| 6 | 競技規則 | (1) 試合は2010年度 「サッカー競技規則」による。
(2) 競技時間は40分(前後半各20分)とする。
(3) 試合はすべてトーナメント戦とし同点の場合は5人ずつのPK方式。
(4) 決勝戦は前後半5分ずつの延長戦を行う。但し、延長戦でも勝、負がきまらないときPK方式となる。
(5) 本大会の試合中に退場処分を受けたものは次の試合1試合に出場できない(同一大会)
但し、この事は各ブロック大会での処分を持ち越さない。 |
| 7 | 表 彰 | (1) 1位から4位までを表彰する。賞状 優勝杯
敢闘賞 努力賞 グッドマナー賞
(2) 中央大会1位のチームを全日本少年サッカー大会へ推薦する。
上位チームの中から3チームを関東少年サッカー大会へ推薦する
(3) 中央大会出場チームより20名の優秀選手を選出し表彰する。
※ 選手宣誓 (15) ブロック |
| 8 | 注意事項 | 日程の都合上PK戦になった場合特設のコートにて行うことがある。
ユニフォームについて ① 背・胸番号が付いている物を着用。
② 黒色の上、下衣、ストッキングは、不可とする。 |
| 9 | そ の 他 | ・ 組み合わせ抽選会には必ず代表者が出席し、大会方法、時間関係、会場関係等を、大会当日会場にくる指導者、保護者、選手、関係者に徹底する。
・ ハンドブック記載の中央大会参加に関する要件を厳守する。
・ 大会期間中の事故については応急処置を行うが、それ以後の対応についてはチームが各自加入しているスポーツ保険などで処理する。特に見学、応援などに来る保護者などの事故については自己責任を確認させ、必ず了承を得ること。 |